

ひと ひと
女と男の情報誌

笑がお



● CONTENTS ●

- ☆ イキイキ笑顔人 ま ま き ひ さ こ 間々木久子さん
「美味しい野菜作りが元気の源！」…………… P 2
- ☆ 女性のための実践パソコン講座 受講生募集…………… P 3
- ☆ 男女共同参画市民企画講座を開催しました…………… P 3
- ☆ 笑がおコラム「凛とした素敵な笑顔」…………… P 4
- ☆ 男女共同参画キーワード『ワーク・ライフ・バランス』 P 4



みんなが笑顔でいられるために……………

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人
見つけた！



ファイル No.24 ま ま き ひ さ こ 間々木 久子さん 72 歳

吉川市の農家に生まれ、学校卒業後は祖母、母と共に農業を続け後継者となる。結婚後、夫と米・野菜を作り 3 人の娘を育て、現在は孫 5 人に囲まれる。農作業の合間に作る漬物・かき餅などは絶品と評判。

美味しく安全な野菜にこだわって

毎朝、農協の産直販売所「フレッシュファーム」に野菜を出荷しています。春頃まで栽培する主なものは、レタス、ブロッコリー、白菜、大根、人参などですね。販売所では各生産者がキャッチフレーズを持っていますが、私のは「季節の香りをお届けします」というもの。季節ごとに違う朝採りの野菜の新鮮さや美味しさを、多くの市民の方たちに提供したいと頑張っています。

特に野菜作りの工夫や研究を重ねたのはレタスですね。30 年以上前から栽培してきたレタスですが、できるだけ有機農法を実践したくて、60 歳頃から研修会に通って農業の規定などの学びを深めました。販売所では、使った農薬などのデータを売り場で公開し安全な野菜づくりを理解してもらっています。消費者に信用してもらうために、生産者として絶対にいい加減なことはしないという信念をずっと持ち続けてきたつもりです。

それに、野菜の中身だけでなく、カタチにも厳しいのが間々木流。出荷する際の選別もこだわりがあって、納得するものしか出せないんです（笑）。

美味しい野菜を作る！

友人や家族と楽しく過ごす！

それが、元気の源です。

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな…。
「美味しい！と言ってもらえることが“野菜作り”の醍醐味です」と言う間々木さん。

生まれ育った吉川で農業を続けながら、多くの人との繋がりを大切にしている間々木さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

農家の跡取り娘として

吉川の農家に生まれ、4 歳の時に父が亡くなり、祖母と母が農業をしながら私と妹を育ててくれました。小さい頃から、長女として実家の後継者になる自覚を持たされたましたが、同時に重圧も感じていました。高校へ進学する同級生に囲まれ、もっと勉強したいのにと葛藤がありました。抵抗する気持ちを何かにぶつけたくて、試験解答を白紙で提出したら、担任の先生が「分かっているよ」と優しく受け止めてくれたことが忘れられない思い出です。

結婚後 3 人の娘に恵まれ、兼業で働く夫は稲作を、私は野菜作りを分担して農業を続けました。若い頃は夢中で働きましたね。幼い娘たちをトラックの助手席に乗せて、荷台いっぱいキャベツを吉川から築地の市場まで運んだりもしたんですよ。子育てが一段落した後に夫が亡くなって以来、繁忙期にパートさんに入ってもらう他は、ほとんど私一人で野菜栽培に取り組んで来ました。広げてきた畑も、70 歳を過ぎて少しずつ減らそうとしています。出荷量を増やすより、作った野菜を「美味しい！」と言ってもらえることが、今一番の喜びです。

ダンス・合唱で友人たちとリフレッシュ

ガムシャラに働きながらも、仕事だけの毎日では自分を見失ってしまうようで「ダメだなあ」と感じて始めたのがPTA 主催のママさんバレーでした。週一回でも自分の時間を持つことで、友人が増え、生活に張りが出ました。その後、ストレッチ体操のつもりで始めた社交ダンスも楽しかったですね。畑でネギの畝を立てる重い大型機械を操作しているうちに身体が思うように動かなくなったのがきっかけでした。ステップを覚えて上達を目指す社交ダンスには、かなりはまりました。

還暦を迎えたところで、ダンスから友人に誘われたクラスに転向。週一回の練習や合唱フェスティバル、ボランティア演奏会への出演を楽しんでいます。

野菜作りは毎日の手入れや収穫に追われますが、仕事

の合間に家族や友人たちと楽しく過ごす時間があることで、気持ちにメリハリができて元気に過ごすことができているのだと思います。高齢になればなるほど、人との交流の大切さを感じます。友人は何よりの財産ですね。



野菜栽培の合間に、冬場は山東菜の漬物を四斗樽に2つ、夏場は200本の胡瓜の漬物を作るという間々木さん。

女性のための実践パソコン講座

- 日時** 4月8日から9月16日まで、毎週火曜日午前9時30分から11時30分 全18回
- 内容** Word&Excel 初級講座 保育あります(有料)
- 対象** 自立を目指す市内在住・在勤の女性、パソコンを持参できる方
- 定員** 20名(先着順)
- 費用** 27,000円(テキスト代含む、分割可、生活保護世帯などは半額)
- 主催** NPO ネットよしかわ・吉川市
- 申込・問合せ** 3月20日までに所定の応募用紙を直接またはFAX・Eメールで吉川市役所市民参加推進課へ。電話 048-982-9685 FAX 048-981-5392
mail: Shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

受講生
募集中



男女共同参画市民企画事業
『男女共同参画の視点から考える
サロン風まちづくり講座』を開催しました。

よしかわNPO連絡会の主催により、平成25年9月から平成26年1月までの5回、これまで親しんできた文化や日常生活、そして自分自身を、男女共同参画の視点からみつめなおす講座を開催しました。

様々な切り口で、幅広い年齢層をつなぎ、まちづくりを考える、たいへん有意義な講座となりました。



第1回「これからの自治会」
よしかわNPO連絡会代表 中山宏司氏

第2回「災害と男女共同参画」
— 東日本大震災の経験から —

埼玉県男女共同参画推進センター 瀬山紀子氏

第3回「ボランティアやっていたからこそ得た力」
よしかわ子育てネットワーク代表 中島真由美氏

第4回「江戸の子育てから現代の子育てを考える」
こども広場おひさま代表理事 富田真理子氏

第5回「総括—10年後の吉川に今、必要なこと」
NPO ネットよしかわ事務局長 康 憲子氏

凛とした素敵な笑顔

私の属するグループの最高齢の女性は 80 歳。彼女は現在様々なボランティア活動に生き生きとしている。

今日はどこそこの小学校で紙芝居の読み聞かせ。明日はエッセイのグループで創作活動。その次は健康リハビリのつきそい。その間にお菓子作りや日々の料理を手作りしている。その味は絶品。果物の皮で作る砂糖菓子は一度食べたら忘れられない。

その彼女だが、数年前には認知症と診断され、ものすごく落ち込んでしまったこともあった。しかしそれは脳梗塞による一過性のものだったようで、今はすこぶるはつらつとしている。

ある日、彼女が一段と輝いて話をはじめた。

「私ね、すごいことしたの」という。なんでも朗読劇のトップバッターになって、とある会館で舞台に立ったのだという。ドキドキする心臓の鼓動と、足が震えるほどの緊張感に体中が包まれたとき、「私ね、会場の一人一人の顔が見えたのよ」と話し始めた。真っ暗なステージから、明るい客席がしっかり見えたのだそうだ。そしてスーと心が落ち着いてきたのだという。

そのあとのスポットライトをあびて朗読を始めた彼女の顔が、突然私の前に浮かんできた。若いころ脚本家になりたかったという話が脳裏をかすめた。背筋をびんと伸ばし、ゆっくりとしかし歯切れよく朗読を始めた彼女は、きっとほほを紅潮させながら、素敵な笑顔をうかべていたに違いない。

夢を持ちながら、自分のできることをなんでも挑戦する彼女は、私たちのグループを常に元気づけてくれている。

R・M

男女共同参画キーワード 『 ワーク・ライフ・バランス 』

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」とは、働くすべての方々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。しかし、現実の社会では、「安定した仕事に就けず、経済的に自立できない」、「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」、「仕事と、子育てや親の介護との両立が難しい」などの理由で、多くの方がワーク・ライフ・バランスを実現できていません。それぞれの人の置かれた状況に応じて仕事と生活のバランスをとれるようにすることで、多様な人材が自分の事情に合わせて働くことのできる社会を目指しています。



募集しています!!

✳この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。

✳この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行 笑がおの会（川崎容子・間宮玲子・丸山篤恵）・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5392 e-mail:shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

☆この情報誌は、吉川市より男女共同参画推進市民企画事業補助金の交付を受け作成しました。



※題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。